

## Y R P を 世 界 の Y R P へ



平成9年10月に横須賀リサーチパーク(YRP)がオープンしてから1年と半年あまりが経過いたしました。

この間にも、平成11年3月には、YRP3番館が開設されるなど、YRPにおける研究開発活動は一層活性化しています。当協議会では、産学官連携研究開発テーマの提案、共同研究機関探し、共同研究実施に関わる活動等、YRPにおける研究開発活動支援の推進を行っています。既に、電波暗室整備、情報センター整備、ITS実験施設整備、共同研究契約書雛型策定、各種研究交流プログラム実施など多様で積極的な活動の実績を重ねています。

郵政省通信総合研究所では、YRP研究開発協議会と連携した研究開発を基本方針としています。例えば、産学官連携プロジェクトとして協議会に提案しましたITS研究では、20社を越える国内外の企業が参画したグループが構成され、連携研究開発がスタートしました。

当協議会では、今後も産学官連携を基本理念とし、国内外の研究機関は勿論、大学、標準化機関等との連携活動を進めて行く方針です。

YRP研究開発協議会活動への、皆様方の一層のご理解とご協力をお願いする次第です。

郵政省通信総合研究所横須賀無線通信研究センター長  
横須賀リサーチパーク研究開発協議会代表幹事 大森慎吾

## 横須賀リサーチパーク研究開発協議会からのお知らせ

### [幹事会報告]

去る6月8日、横須賀リサーチパーク研究開発協議会の平成11年度第1回幹事会が開催され、平成11年4月に策定された「電波・情報通信技術研究開発拠点に向けた活動計画」を実施していくための個別課題について、審議が行われました。主な内容は以下のとおりです。

#### 1. ARI B、通信機械工業会(CIAJ)等との連携

YRP研究開発協議会とARI B、CIAJとは、連携した活動を行うことにより相互にメリットが得られる。当面、イベントの共催・協力から積極的に取り組むよう働きかける。(7月上旬にはCIAJ専務理事がYRPを訪問)

#### 2. ベンチャー企業環境の整備

平成10年度、郵政本省が実施したベンチャー研究会「情報通信ニュービジネスの創業・成長に向けた経営資源に係る環境整備に関する研究会」をベースに、平成11年度郵政省関東電気通信監理局が、YRPにおけるベンチャー参画の環境整備及び支援策について検討するため、「情報通信ベンチャー支援政策研究会」を開催する。(第1回会合が7月1日に開催され、委員としてYRP関係者が多数参加)

#### 3. 海外との交流

まず、域内の交流を進めることを前提に、アジア太平洋地域等の国々のYRP研究開発協議会と似たようなミッションを持つ団体、産学官研究機関との間で技術交流、研究者交流、共催事業等を実施する関係を早急に構築する。幹事会では、年度予算の組み替えによる予算確保が承認された。また、当該事業については推進協会の支援も受ける予定。図1及び図2参照。

#### 4. 第4世代移動通信システム及びモバイルアプリケーション開発推進に向けた取り組み

将来の移動通信システムに係る研究ニーズの発掘・共同研究へのコーディネートを推進するため、行政、大学、産業、地域など様々な分野から多様な業種団体のキーパーソンによる講演会・談話会等を行い、移動通信の将来利用形態等についてアプローチを行っていく。

図 1. YRPにおける国際交流形態

横須賀リサーチパークは、アジア太平洋地域などの国々の研究開発協議会と同様のミッションを持つ団体、産学官研究機関との間で技術交流、研究者交流、人材育成、共催事業等を実施する関係を早急に構築する。

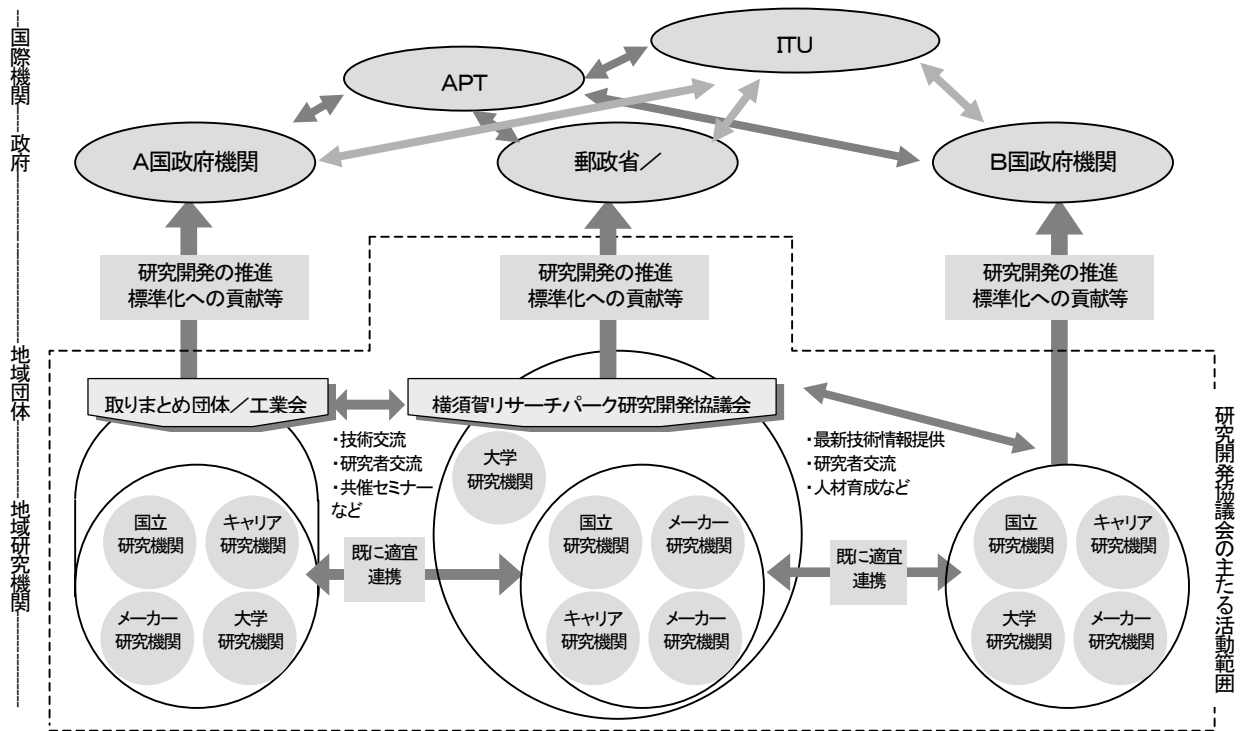


図 2. 平成 11 年度研究開発協議会国際交流事業

交流事業	事業の内容	実施時期
研究者交流	産学官交流事業にアジアからの留学生、若手研究者を招待し、わが国の若手研究者、学生と交流する。	平成 11 年 6 月(終了)
研究者交流	YRP 夏祭に外国人研究者及びその家族の多くの参加を求め交流を行う。	平成 11 年 7 月
国際会議	WPMC'99 に多数の会員の参加を求め、海外で活発な研究交流を行う。また、その際、近隣のリサーチパーク、研究機関等を訪問し、研究開発のアクティビティに関する情報交換を行う。	平成 11 年 9 月
CIAJ との連携事業	通信機械工業会との連携プログラムにより、国際交流事業を実施する。具体的事業としては、本年 11 月に CIAJ が行うアジア「電気通信産業交流」において、YRP で推進中の次世代移動通信システムの研究開発状況についてレクチャーを行う。	平成 11 年 11 月
調査活動	IITS 世界大会(トロント)参加者に協力を求め、IITS を中心にしたアメリカの研究開発実態調査を行う。	平成 11 年 11 月
海外セミナー	本年 5 月に実施した「アジア電波・情報通信研究開発調査」実施国に出向き、地元通信業界、関連業界のトップ、研究者等を対象に、現在、YRP で研究開発が行われている次のテーマについて、レクチャー(最新技術情報)を行い、人的交流を深める。実施に当たっては、会員の協力を基本に郵政省に協力を求め、現地関連組織の協力も得て実施する。 ◆ IMT - 2000 ◆ I T S ◆ 成層圏無線中継システム ◆ ミリ波映像多重伝送システム 等	平成 12 年 1 月
その他	上記事業によって選ばれたネットワークを核に交流を推進する。	経常的

[産学官交流シンポジウム報告]

6月14日・15日の2日間、大学の研究成果を事業化し社会に還元する土壌を醸成することを目的に、産学官交流シンポジウム(YRPに移動体通信分野に特化した全国規模の産学官「お見合い」の場)を開設した。

今回は、全国29大学より移動体通信分野の52件の研究成果の発表があり、150社を越す企業から、2日間で述べ700人を越える来場者があった。その際実施したアンケートによれば、来場した企業関係者の約8割が興味を持った研究発表があった、約3割が共同研究・事業化を進めたい研究発表があった、98%の人が次も参加したいと答えており、内容的にも当初予想以上に評価が高いものであった。今後協議会ではマッチング追跡調査を行い、今後の方針を作成していく。

## 研究所紹介コーナー

このコーナーでは、YRP地区に進出されている研究機関を毎回1～2機関取り上げて紹介します。今回は、NTT DoCoMo R & D センタです。

### NTT DoCoMo R & D センタ

NTT DoCoMo は、R & D センタにおいて、移動通信の基盤技術研究から次世代移動通信システム (IMT - 2000) の開発などに至る、最先端でかつ幅広い研究開発を進めています。

#### [ R & D センタの特徴 ]

当センタは、電波暗室やマルチメディア関連の特殊実験室など各種最新実験設備を装備し、さらに、プレゼンテーションホール、図書室、展示ホールも設けられています。また、地球環境保護、エネルギーを効率的に利用するための太陽光・風力のハイブリッド発電システム、コジェネレーションシステムが採用され、クリーンエネルギー・省エネルギーを意識した設備となっている他、免震構造を採用した建築設計により、地震にも耐え得る構造となっています。

当センタには、NTT DoCoMo 研究開発本部の大部分の部署のスタッフが常駐し、研究開発を推進しています。図1に当社開発本部の組織構成を示します。

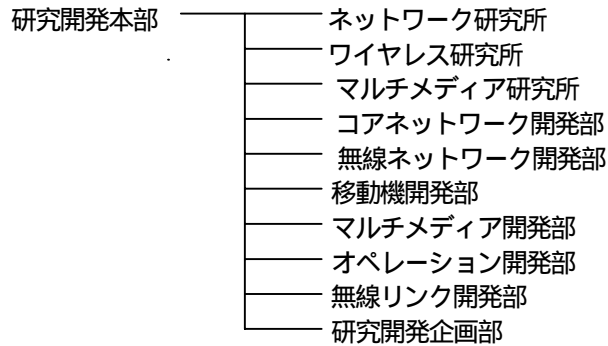


図1 NTT DoCoMo 研究開発本部組織構成

#### [ W - CDMAシステム実験 ]

21世紀に向けて、グローバルでボーダレスな通信が可能で、しかも音声やデータ、動画像など各種マルチメディアサービスに対応した次世代移動通信システムの導入が必要とされています。

移動通信の第1世代であるアナログ方式には国の内外にさまざまな方式が存在し、第2世代のデジタル方式でも、日本のPDC、ヨーロッパのGSM、アメリカのTIA標準という3つの方式が共存していました。現在、NTT DoCoMoは2000年代の第3世代移動通信システムであるIMT - 2000の実現に向かって歩みを進めています。

IMT - 2000は第3世代移動通信システムの国際標準となるべきもので、2000年を目標にグローバルなローミングとインターフェースの統一化に向けて標準化を進めています。IMT - 2000が目指すのは、国際標準化された無線インターフェースと固定通信に匹敵する高品質で多用なサービスを提供できる移動通信システムの実現です。グローバルな規模で「いつでも、どこでも、だれとでも」簡単にコミュニケーションできるような環境をつくらうとしています。サービス面の目標としては、これまでの音声中心のサービスから最大2Mbpsのデータ通信や画像通信を可能とするモバイルマルチメディアサービスの実現をあげています。さらに固定網なみの品質を確保しつつ、現在のハーフレート化されたPDCシステムの2倍の容量を実現しようとしています。

現在、NTT DoCoMoは、オープンな形で、次世代移動通信システムの無線技術である広帯域CDMA (W - CDMA) のシステム実験を推進しています。

当センタでは、さまざまなW - CDMAのシステム開発が国際的なスケールで進行中です。内外の研究機関とも協力し、広範なシステム実験や共同研究開発が行われています。

(本頁の紹介文は、NTT移動通信網株よりご提供いただいたものです)

## 横須賀リサーチパークで予定されている当面のイベント

横須賀リサーチパーク研究開発協議会等が年内に開催を予定している主なイベントは以下のとおりです。詳細は、今後発行するYRPニュースやYRPホームページでご案内させていただきます。

開催日	イベント
7月17日	YRP 駅伝大会'99
7月23日	講演会「医療から移動通信への期待」(国立大蔵病院：開原成允院長)
7月27日～28日	MSMM'99 計測シンポジウム
7月30日	YRP 夏まつり
7月～8月(5日間)	デジタル無線通信技術基礎講座(九州大学：赤岩芳彦教授)
9月17日	URSI - F
9月21日～23日	WPMC'99 於：オランダ
9月24日～10月2日	ヨーロッパ現地調査団派遣 (横須賀リサーチパーク推進協会、横須賀リサーチパーク研究開発協議会会員を 対象)
11月	ITS 世界大会 (ITS 研究開発実態調査)

## 横須賀リサーチパーク推進協会からのお知らせ

横須賀リサーチパーク推進協会では、広報活動の一環として、YRPのプロモーションビデオの作成、パンフレットの改訂を行っています。現在、ナレーション等の校正段階に入っておりますので完成しましたら、YRPニュースでご報告いたします。

また、7月末に事務局を東京・品川からYRP域内に移転する予定です。

## (株)横須賀テレコムリサーチパークからのお知らせ

### 駅伝参加者募集中 !!

皆さん駅伝に参加してみませんか？ 足に多少の自信のある方、全く経験のない方もイベントをのぞくつもりでお気軽にご参加下さい。初夏のYRPの中を爽快にかけぬけましょう。

サポートセンター、ローズテリア、(株)YRPに備付けの申込み用紙に所定事項をご記入のうえ、7月10日(必着)までに(株)YRPへお申込み下さい。

- ・開催日 平成11年7月17日(土) 午前10時スタート
- ・会場 YRP内周回コース
- ・主催 YRP 駅伝実行委員会
- ・お問合せ (株)YRP 米沢まで(TEL:0468-47-5000)

### YRPサイバーコミュニティの開設

YRPホームページ上に「掲示板」「チャット」機能を追加しました。YRP地区に勤務されている皆様の情報インフラとしてご活用ください。但し、掲載された情報内容について(株)YRPは責任を負いません。また、誹謗・中傷等を含む内容については、削除させていただくことがありますのでご留意願います。

### 編集後記

YRPで役立つ情報をお届けすることを念頭に作成しています。ご意見・ご感想をどしどしお寄せくださるようお願いいたします。

編集・発行 横須賀リサーチパーク推進協会  
〒108-0074 東京都港区高輪3-24-19 TEL:03-3447-7571 FAX:03-3447-7850  
横須賀リサーチパーク研究開発協議会  
〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5008 FAX:0468-47-5010  
(株)横須賀テレコムリサーチパーク  
〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5000 FAX:0468-47-5010 <http://www.yrp.co.jp/>